

ある町の天気相談所

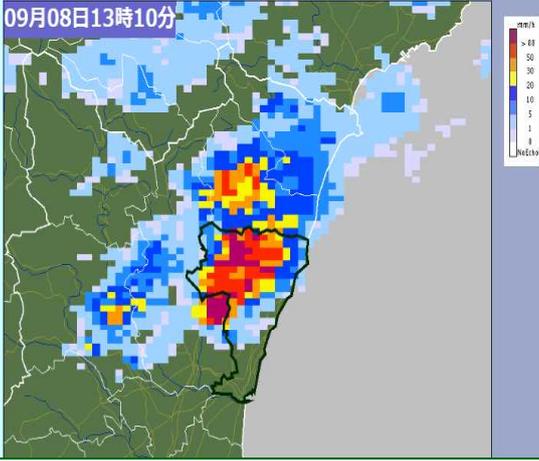
Vol.10
2018.10.5

平成30年10月号



9月の短時間の大雨

9月は雨が降った日が多く、大気が不安定となって、短い時間の大雨が幾度かありました。特に9月8日は西部から北部を中心に発達した雨雲がかり、本山では10分間23・5ミリの雨を観測するなど、大雨となりました。

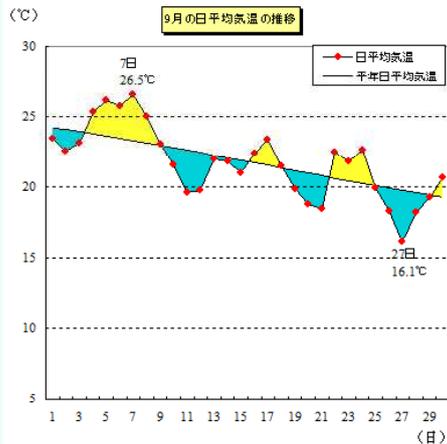


9月の気候

9月は、平均気温が21・7度と3月以降平年より高い気温が続いていましたがようやく、平年並みの気温となりました。

雨の日が多く、降水を観測していない日は2日しかなく、台風も月のはじめと終わりに接近し、降水量は平年の140%の249・5ミリと多くなりました。

一方、日照時間は、雨や曇りが多いため平年の55%の73・7時間しかなく、少なくなりました。



1カ月予報(気象庁発表)

10月は、数日の周期で天気は変わりますが、中旬は晴れの日が少なく、降水量は平年並み、日照時間は平年並みか少なく、気温は、はじめ平年より高く、次第に平年並みに近づくと見込みです。

天気相談所のあゆみ

気象観測
天気相談所の歴史4

昭和27年6月に誕生した日立市天気相談所ですが、実際の業務は順次はじまっていきました。日立鉱山から引き継いだ、神峰山観測所は、鉱山時代から勤務していた方にお願ひすることで、6月15日から観測がはじまりました。日立市役所にも、新たに観測所を設置し、9月から観測が開始されました。当時の観測場所は、現在と同じ位置で、市役所北側の市営諏訪台団地の前にあります。火災監視のためにもうけられていた望楼があり、その下に百葉箱等を設置しました。観測は、現在とほぼ同じ項目を行っており、気温については、観測場所の移動もありません。



開設当時の観測所(場所は現在と同じ)

天気の用語の基礎知識

降水量

降った雨の量をいいます。現在は、転倒マス型雨量計により0・5ミリ単位で測定をしています。決まった時間ごとの統計を取っています。よく使われるの統計としては、1日、1時間、10分間などがあり、日立市役所でのものとも多い記録は、1日が255・5ミリ、1時間最大は88・0ミリ、10分間最大は30・3ミリとの記録があります。短時間の強雨の場合、10分間では多いものの、1時間ではそれほど多くならない場合があります。

神峰の山から

今年の8月から10月にかけては、例年より多くの出前講座や、施設見学が予定されています。出前講座については、気象予報士が出向いて、施設見学については、市役所で天気相談所を見学し、歴史や業務の紹介などを行っています。また、夏休みには自由研究で天気相談所を見学に来た小学生もいました。業務や歴史については必ずお話ししていますが、過去の災害や、気象予報士の仕事など、御要望に応じています。個人的にはお話ししたい内容でも、講座で話せるような内容でないため、お話しできない所もあります。